第１０回　弘前大学大学院保健学研究科 倫理委員会議事要旨（概要）

日　時　　平成２７年 5月２７日（水）　　１８：００　～　１９：２０
場　所　　小会議室
出席者　　齋藤 久美子(委員長)、伊藤 巧一(副委員長)、尾田　 敦、和田 一丸、
　　敦賀 英知、三浦 秀春、一條 敦子
欠席者　　真里谷 靖

Ⅰ　確認事項

１　第９回大学院保健学研究科倫理委員会議事要旨
　第９回大学院保健学研究科倫理委員会議事要旨が確認された。

２　その他

Ⅱ　報告事項

１　臨床試験・研究等の倫理審査結果一覧
　卒業研究倫理審査結果一覧が回覧された。
　（平成27年4月23日～平成27年5月26日　審査終了分５件）

２　予算について
　委員長から、今年度の予算配分について、以下のとおり報告があった。
・外部委員の会議出席等謝金について要求していること。
・倫理に係る研修費は、現時点で詳細が明確ではないことから計上しなかったこと。
・研修費については、別途の予算を考慮願いたい旨研究科長へ依頼していること。

３　倫理講習について
　委員長から、本学の研究倫理統括管理責任者（研究担当 柏倉理事）から全教員に対して、研究倫理教育プログラム(CITI)の実施についての連絡があったことから、保健学研究科等で実施する倫理教育との関係について確認したところ、本研究科等での実施内容と医学研究科の生命倫理に関する部分は内容が異なるため、それぞれ独立して実施していく必要がある旨報告があった。

４　その他

Ⅲ　議題

１　新規倫理審査申請
　委員長から、紙上委員会及び事前配布で確認いただいた新規の倫理審査申請について、各委員からの意見を伺ったうえで審議することとしたい旨諮られ、審議の結果、以下のとおりとなった。

１）オイル軽擦と泡洗浄を取り入れた手浴の効果
（看護学領域　大学院生　三上 えり子）

申請者の大学院生　三上さんからの申請内容等について、説明及び質疑応答等が行われ、その後審査の結果、書類の一部訂正並びに追加資料の提出を後日に求める旨の条件付で承認することとした。

２）Dual Source CT を用いたときの乳腺組織の分類

（医療生命科学領域　教授　柏倉 幾郎）

申請内容等から申請の意図が不明であるため、委員長が確認した上で判断する。申請者の役割等を確認の結果、特段の問題が無ければ条件付き承認を想定するが、その判断は委員長に一任することとした。

３）腿挙げによる腰椎アライメント変化に対する股関節周囲筋の影響

（総合リハビリテーション科学領域　大学院生　上原 徹）

（※審査結果：承認（条件付き））

２　倫理指針改正に伴う対応等について

委員長から、電算支援システムの試行状況について、特に問題は指摘されなかったこと、ホームページに記載している申請書と電算支援システム帳票で異なるところは１ページ目の選択部分と、治療法と課題名の順序が相違しているだけであったことの説明があり、今後は当面、紙媒体と電算支援システムの両方から申請があっても問題ないことから、どちらからの申請でも受け付けることにしたい旨の発言があり了承された。

３　その他

委員長から、「保健学科各専攻卒業研究倫理審査会」における 保健学科学生卒業研究の倫理審査に関する申合せの解釈について諮られ、以下の内容について確認がされた。

第３　対象となる卒研

(1)以下のすべての要件を満たす研究

1）他の機関において既に連結可能匿名化された情報を収集するもの,無記名調査を行うものその他の個人情報を取り扱わないものであること。

・上記の「･･･収集するもの,無記名調査を･･･」の「,」は、andではなくorと解釈する。

○次回開催予定　６月２４日(水) １８：００～